

## 事務事業評価における総括

部 局 名	経済部	記入責任者	大八木 和也
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>経済部の業務計画に位置付けた事業では 21 事業のうち 13 事業についてはS評価、8 事業についてはA評価としており全体として事業の成果があがり、順調に進捗しています。A評価とした 8 事業については、関係機関との調整に時間を要した等の理由により事業目標を達成できなかったものであるため、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>前年度、C評価となった産業振興課の企業等立地等促進事業については、平成 28 年度よりスタートしたビルドアップ茅ヶ崎 2nd にあわせて周知活動等を重点的に実施したため、事業者へ浸透し、目標を達成することができました。</p> <p>雇用労働課の地域雇用促進事業については、事業参加者の就職率が目標に達していなかったものですが、参加企業・参加者を増やすことが課題であると分析しています。そのことにより、企業説明会の実施時期の調整や開催テーマの設定等の事業手法の見直しが必要となっています。</p> <p>「茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるリーディングプロジェクトである「道の駅から発信する“オリジナルブランド”推進プロジェクト」や「多様な働き手、働き方創出プロジェクト」などが本格的に動き出していることから、適切なスケジュール管理と事業手法の検討、人員確保等が課題となっています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については継続して成果をあげられるよう事業を進める中で、働き方の見直しの観点から、各事務の効率化などを含め、さらなる事務事業の見直しを実施します。</p> <p>経済部の事業においては成果がすぐに顕在化しないものもあるため、PDCAを実施し、個別の事業について適宜見直しを行います。</p> <p>農業振興及び漁業振興に関しては、今後の厳しい 1 次産業の変化をとらえると共に、関係団体とさらなる協議を進めます。</p>			